

英語科学習指導案

令和元年11月8日（金）第5校時（13:25～14:15）1年2組
T1 佐藤 真一 T2 Camilla Webber

題材名 Lesson 6 My Family （New Crown 1）

【目標】

イギリスにいるALTの家族に本校の先生を紹介する活動を通して、相手意識をもったShow & Tellをすることができる。

I 課題発見型学習活動

- ALTの家族からのビデオレターを視聴し、日本に住むALTに対して家族が心配していることを知り、ALTの家族を安心させるために何ができるかを考えることで、単元の課題をつかむ。
- 小学校で行った「My Hero」の活動や、前単元の先生へのインタビューをまとめたプロフィールカードをつなぎ教材として、Show & Tellで活用し、小野中の先生について紹介したり文章を書いたりする活動をする。
- Iとyou以外の人を説明するために必要な文法事項を知る。

【単元の課題】

イギリスにいるALTの家族にビデオレターを通して小野中の先生を紹介し、安心させよう。

II 単元計画（全9時間予定）

*単位時間の中心活動（はばプラII参照）

過程	時間	○めあて ※生徒指導3機能（決＝自己決定、存＝自己存在感、共＝共感的人間関係）	・主な学習内容	◎学びのつながり	*	評価の観点			
						関	表	理	言
つかむ	1	○イギリスにいるALTの家族からのビデオレターを見て、安心させるために小野中の先生を紹介し合おう。（※共） ◎既習表現を使って、プロフィールカードを用いながら、小野中の先生の紹介をする。（試しの活動） ・ALTのフィードバックを聞いたり、教科書を活用したりしながら、3単元のSに気づく。 ・試しの活動の中での友達とのやりとりや教科書の活用を通して、使いたい表現をつかむ。			A B	○			
	2	○先生について紹介したり説明したりする表現を知ろう。 ・教科書本文を読み進めることを通して、他者について紹介したり、説明したりする表現を理解する。 ・3単元のSがついた一般動詞の言い方を知る。 ・3単元のSに慣れるためにマッピングを行いながら繰り返し表現を使う活動を行う。 ・活動で言えた表現を書きためる。			B				○
究	3	○教科書本文を参考にして、先生のことを紹介しよう。 ・教科書本文Part1がどのように家族を紹介しているのかを意識しながら読み進め、紹介に生かしたり、内容を理解したりする。 ・教科書本文Part1を気持ちを込めて音読する。 ・Show&Tellを用いたやりとりを通して、先生を紹介し、互いに参考になる部分をマッピングに加える。（※存）			B C		○	○	

す る	4	<ul style="list-style-type: none"> ○質問したことや答えたことを加えて、先生のことを紹介しよう。 ・教科書本文 Part2 を読み進めて、does を含む疑問文にふれたり、内容を理解したりする。 ・教科書本文 Part2 を気持ちを込めて音読する。 ・先生がすることについて尋ねながらやりとりを行い、質問されたことをマッピングに加える (※決) ・活動で言えた表現を書きためる。 	A B			○	○
	5	<ul style="list-style-type: none"> ○しないことを加えて、先生のことを詳しく紹介しよう。 ・教科書本文 Part3 を読み進めて、does を含む否定文にふれたり、内容を理解したりする。 ・教科書本文 Part3 を気持ちを込めて音読する。 ・先生がしないことについて尋ねながらやりとりを行い、質問されたことをマッピングに加える。(※決) ・活動で言えた表現を書きためる。 	C			○	○
	6	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書本文を参考にして、先生のことをより詳しく紹介しよう。 ・先生についてより詳しく紹介するために活用できそうな文を教科書本文から抽出し、追記する。 ・活動で言えた表現を書きためる。 	B C		○		
	7	<ul style="list-style-type: none"> ○書きためた紹介文をグループで読み合おう。 ◎1時間目に視聴した ALT の家族からのビデオレターを再度見て、単元の目標を再確認する。 ・相手に伝える際には、正確性も求められることに気付く。 ・先生について書きためたものを、3人グループで読み合い、チェックリストを活用しながら推敲する。(※共) ・推敲されたものをもとに誤りを修正し、書き直す。 	B C		○		
ま と め る	8	<ul style="list-style-type: none"> ○ALT の家族に小野中の先生を紹介しよう。 ・マッピングと写真をもとに、Show & Tell で、ALT の家族に小野中の先生を紹介する。(※存) ・紹介する様子を録画する。 	B	○	○		
	9	<ul style="list-style-type: none"> ○先生の紹介ビデオレターをよりよいものにしよう。 ◎8時間目に録画した Show & Tell を見直して、ALT の家族を本当に安心させるためにはどうすればよいかを考えて、再度紹介する。(※共) ・自らの動画をグループで見直す。(※存) 	B C		○		

「単位時間の中心活動 (はばプラ II 参照)」について

A: 「単元の課題の解決」に向けて、新言語材料に触れる。

B: 新出言語材料を活用する言語活動に取り組む。

C: 教材にあるまとめの活動や、教科書の本文理解など、本文に関する言語活動に取り組む。

- 1 ねらい イギリスにいるALTの家族からのビデオレターを見て、ALTの家族を安心させるために本校の先生を紹介するという本単元の見通しをもち、既習表現を使って先生を Show and Tell で紹介する。
- 2 展開

学 習 活 動 ☆：生徒の意識	時 間	指導上の留意点及び支援のポイント ◎学びのつながり ◇つなぎ教材 ※生徒指導3機能（決＝自己決定、存＝自己存在感、共＝共感的人間関係）	
		JTE	ALT
1 あいさつ・帯活動 ・スモール・トーク Topic: My Hero Who is your hero? ☆My Hero は小学校のときにやったな。 ☆ALT のヒーローはご両親なんだな。	5分	◎◇小学校6年生の外国語活動で発表した My Hero について言及し、やりとりをさせる。 ○本単元の課題をつかむ場面であるので、「ALTのヒーローは両親」であることを生徒全員に理解させる。 ○教科書の内容が My Family「ALTの先生のふるさとはどこ？」であることを伝える。	○ALTにとって My Hero は両親であることを伝える。
2 単元の課題をつかむ ・ALTの両親からのビデオレターを視聴する。 ☆ALTのご両親に小野中の先生を紹介してご両親を安心させてあげよう。	5分	○生徒とやりとりをしながら生徒自身に課題を発見させる。 ※ALTの両親を安心させるためにはどんなことができるかを考えさせ、意見を発表させる。(決)	○イギリスにいる両親に日本での生活を心配させたくないことを生徒に伝える。 ※生徒が両親に本校の先生を紹介してくれたら嬉しいことを伝える。(共)
【単元の課題】 イギリスにいる ALT の家族を安心させるために、小野中の先生を紹介しよう。			
3 本時のめあてをつかむ ・単元の課題を解決するための手立てを把握する。 ☆Lesson 5 で作ったものが役に立つな。	5分	【本時のめあて】 小野中の先生を紹介し合おう。 ◇先生プロフィールカードを使うことで、前単元のまとめの活動が生きることを実感させる。	
4 試しの活動①を行う ・既習事項を用いながら、先生プロフィールカードを使って、小野中の先生を紹介し合う。 ・最初は隣の席のペアで行い、その後何人かの生徒と練習する。 ☆プロフィールカードでまだ表現できないものがあるな。 ☆友達が使った表現を参考にして加えよう。	10分	○話し手に、Show & Tell の姿勢で相手に伝えるように指導する。 ○聞き手に、質問をするように指導する。 ○主語が I, you ではなく he, she であることをおさえる。 ○英語が苦手な生徒に対して語句の支援をする。	※聞き手となって反応をしたり質問をしたりしながら生徒と関わり、紹介できた生徒をほめる。 (存)

<p>5 3単現のSへの気づき・修正 ・ALTのShow & Tellを聞いたり、教科書を活用したりしながら、3単現のSに気づく。 ☆主語が he, she であると一般動詞にSがつくのかな。 ☆教科書の表現や友達が使った表現の中で、使えそうな表現を加えよう。</p>	5分	○ALTの音声や教科書本文の読みとりにより、一般動詞にSがついていることに気付かせる。 ○「主語が he, she であると一般動詞にSがつく」という説明にとどめておく。 (具体的には次時で説明する。) ○教科書本文が家族紹介の内容となっていることや、使えそうな表現を参考にしてよいことを伝える。	○3単現のSを強調しながらShow & Tellをする。 ○相手に確実に伝えるためには、正確さが重要であることを説く。
<p>6 試しの活動② ・もう一度、先生プロフィールカードを使って、先生を紹介し合う。 ☆「すること」や「好きなこと」も言えるようになるな。 ☆試しの活動①で質問されたことを生かして言ってみよう。</p>	10分	○3単現のSを意識して、試しの活動①で質問されたことを生かすように伝える。 ○Sを言えている生徒を賞賛する。 ○試しの活動①よりも情報量が増えたことを実感させる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】 プロフィールカードを使って積極的に先生について紹介している。 (観察・プロフィールカード)</p> </div>	○Sを言えていたら賞賛する。 ※聞き手となって反応をしたり質問をしたりしながら生徒と関わり、紹介できた生徒をほめる。 (存)
<p>7 ライティング ・紹介し合う活動で言えた文を書く。 ☆主語によって一般動詞の形が変わるんだな。</p>	5分	○机間支援をする際に、3単現のSを確認する。	○机間支援をする際に、3単現のSを確認する。
<p>8 本時の振り返りをする ・生徒が振り返りを発表する。 ☆ALTのご両親に先生を紹介するのが楽しみだな。(内容面) ☆紹介する先生のことをもっと知りたいな。そのためにもっと質問をしたいな。(内容面) ☆3単現のSって大切だな。 (言語面)</p>	5分	○振り返りとともに、単元の課題解決への意欲も記述させる。 ○内容面と言語面からよい気づきを記述している生徒を意図的に指名して発表させる。 ※課題を自ら発見し、課題解決に向けて協力して活動できたことをほめる。(決・共)	○自らの両親へのメッセージのために先生の紹介の練習をしてもらったことについて、感謝の気持ちを述べる。

IV 「追究する」過程における授業の展開（7/9）

B・C

- 1 ねらい 書きためた紹介文をグループで読み合う活動を通して、相手意識をもって推敲することができる。
- 2 展開

学 習 活 動 ☆：生徒の意識	時 間	指導上の留意点及び支援のポイント ◎学びのつながり ◇つなぎ教材 ※生徒指導3機能 (決=自己決定、存=自己存在感、共=共感的人間関係)	
		JTE	ALT
1 あいさつ・帯活動 ・Who is he / she / it? クイズ ☆3単現のSをたくさん使えたな。	5分	○黒板にあるキャラクターや芸能人についてペアでやりとりをする。	○表現につまずいている生徒を支援する。
2 単元の課題を確認する ・ALT の両親からのビデオレターを再度視聴し、単元の課題を再確認する。 ☆ALT の両親に小野中の先生を紹介するための準備が順調に進んでいるな。	5分	◎◇2度目のビデオレターの視聴なので、1回目よりも細部を聞き取らせる。 ○ALT も両親に小野中の先生の紹介が届くのを楽しみにしていることを伝える。	○生徒の取組についての感謝の気持ちと両親に知らせたいがまだ秘密にしていることを伝える。
3 本時のめあてをつかむ ・相手に正しく伝えるために、書きためた文をチェックする必要性を感じる。 ☆自分のチェックだけだと不安だな。クラスメイトに見てもらおう。	5分	○正しい文章にするために、生徒たちでできることは何かを考えさせる。 【本時のめあて】 書きためた文章をグループで読み合い、修正しよう。	○確実に伝わるためには、正しい文章が必要であることを説く。
4 本時の活動を行う。 (1) 書きためた文章を読み合う。 ・チェックリストや教科書を活用しながら、お互いの書きためた文を確認する。 ☆3単現のSがきちんと入っているな。 ☆友達のこの表現が参考になるな。 (2) 修正する。 ・チェックをうけた文を修正し、書き直す。 ☆自分では気付かなかった誤りがあったな ☆自信をもって伝えられるぞ。 (3) 修正した文を音読する。 ・グループで修正した文を発音やアクセントに注意しながら読み合う。 ☆説明がスムーズになってきたな。	30分	○チェック項目を示し、誤りのある部分に印をつけさせることで誤りに気付くようにさせる。 ○継続的な指導により、誤りのある英文を自己修正する力を身に付けさせる。 ○チェック前よりもチェック後の方が自信をもって言えることを実感させる。 【表現の能力】 文の誤りに気づき、修正することができる。 (観察、マッピング)	○生徒が正しくチェックできているかを机間支援する。 ○生徒が正しく書けているかを机間支援する。 ○文をしっかり言えているかを聞き取る。
5 本時の振り返りをする ・生徒が振り返りを発表する。 ☆ALT の両親に伝わるといいな。(内容面) ☆ 文の誤りを正すのは楽しいな。(言語面)	5分	※協力して教え合う態度をほめる。(共)	

V 「まとめる」過程における授業の展開（9／9）

B・C

- 1 ねらい 録画した Show & Tell を見て振り返ることで、相手意識をもった Show & Tell にすることができる。
- 2 展開

学 習 活 動 ☆：生徒の意識	時 間	指導上の留意点及び支援のポイント ◎学びのつながり ◇つなぎ教材 ※生徒指導3機能 (決=自己決定、存=自己存在感、共=共感的人間関係)	
		JTE	ALT
1 あいさつ・帯活動 ・Who is he / she / it? クイズ ☆人や物を説明することに慣れてきたな。	5分	○黒板にあるキャラクターや芸能人についてペアでやり取りをする。	○表現につまずいている生徒を支援する。
2 単元の課題を確認する ・単元の課題を最終確認する。 ☆ALTの両親は心配していたな。早く安心させてあげたいな。	5分	○ビデオレターでのALTの両親の「感情」についてやりとりをし、「心配」していたことを想起させる。	
3 本時のめあてをつかむ ・ALTの両親を安心させるためにはどんなビデオレターがよいかを考え、意見を言う。 ☆ALTの両親がちゃんと安心できるようなビデオレターになっているかを見てみよう。	5分	○「安心する」にはどんなビデオレターになっているべきかを考えさせる。	※生徒の良い意見をほめる。(存)
【本時のめあて】 先生紹介のビデオレターをよりよいものにしよう。			
4 本時の活動を行う。 (1) 録画したビデオレターをタブレットで視聴する。 ・ビデオレターを視聴し、工夫点や改善点を伝え合う。 ☆もう少し笑顔の方がいいな。声の大きさも必要だな。ジェスチャーもつけたいな ☆はっきりゆっくり言うのとより伝わるよ。 (2) 本番のビデオレターを録画する。 ・工夫点や改善点をもとに、再度録画する。 ☆本番だから頑張ろう。最高のビデオレターにしよう。 (3) ビデオレターを見せ合う。 ・録画したビデオレターをグループで見せ合い、改善したことを確認する。 ☆ついに完成した。楽しかったな。 ☆ALTの両親は喜んでくれるだろうな。	30分	○自分がALTのご両親でそのビデオレターをもらったかどうかをを考えさせる。 ○この単元でこれまで学習したことを生かして活動に取り組ませる。 ※ビデオレターで工夫されているところをほめて達成感を味わわせる。(存)	○ビデオレターを見ながらほめたり助言したりする。 ○発音・アクセント等を助言する。 ※ビデオレターを見ながら、具体的にほめる。(共)
【表現の能力】 ビデオレターの改善点を見つけ、よりよくしている。 (観察、ビデオレター)			
5 本時の振り返りをする ・生徒が振り返りを発表する。 ☆先生について詳しく紹介できてよかったな。 ☆よいビデオレターができてうれしいな。 ☆ALTの両親にきっと伝わるだろう。 (内容面) ☆三単現のSを使えるようになった。 (言語面)	5分	○単元のはじめの試しの活動と本時の活動を比べて振り返らせ、できることが増えたことを実感させる。 ※協力してビデオレターを完成させたことをほめる。(共)	○自分の両親のために頑張ってくれたことに対して感謝の言葉を述べる。

